



UNITED NATIONS  
UNIVERSITY

# CSRエコプレミアム流

国際連合大学

安井 至

<http://www.yasuienv.net>



# 社会的責任に関するISO26000

- 2007年2月 ISO/WG on SR
- シドニー・オーストラリアで開催
  
- 以下の4項目
- 環境
- 人権・労働慣行
- 組織的ガバナンス・公正な商慣行
- 消費者の問題・コミュニティ参画／社会開発

# 社会的責任の定義

## ● 定義

社会及び環境に対して、その活動の影響について責任を取るという組織の行動。これらの行動は、

— 社会の利益持続可能な開発と整合性がとれている。

— 倫理的振る舞い、適用可能な法律及び政府間文書に基づく。

— 組織の既存の活動と一体化される

# 社会的責任：CSR

- 通常はCorporate Social Responsibility
- 第零レベル： 法令遵守・組織ガバナンス
- 第一レベル： 人権・労働慣行
- 第二レベル： 社会への貢献
- 第三レベル： 消費者との関係
- 第四レベル： 環境への責任
- 今後はCorporate for Sustainability of Society with Responsibility??

# 消費者との関係

- 第一目標： 信頼される企業
- 第二目標： 消費者の求めるものを提供する企業
- 第三目標： 消費者の欲求を変える企業
- 第四目標： 消費者のライフスタイルを持続型に変える企業



# 安倍首相の「美しい星50」 & 「21世紀環境立国戦略」

6月1日2007年

- 「2050年までに地球全体での温暖化ガス排出量を現状より50%削減する」。
- 日本国民は、「各人、1日にCO<sub>2</sub>の1kgの排出削減を」。
- 環境省から基本的な提案をするが、すべての人々から新しい提案を募集したい。



# ハイリゲンダムサミット

6月6日～8日2007年

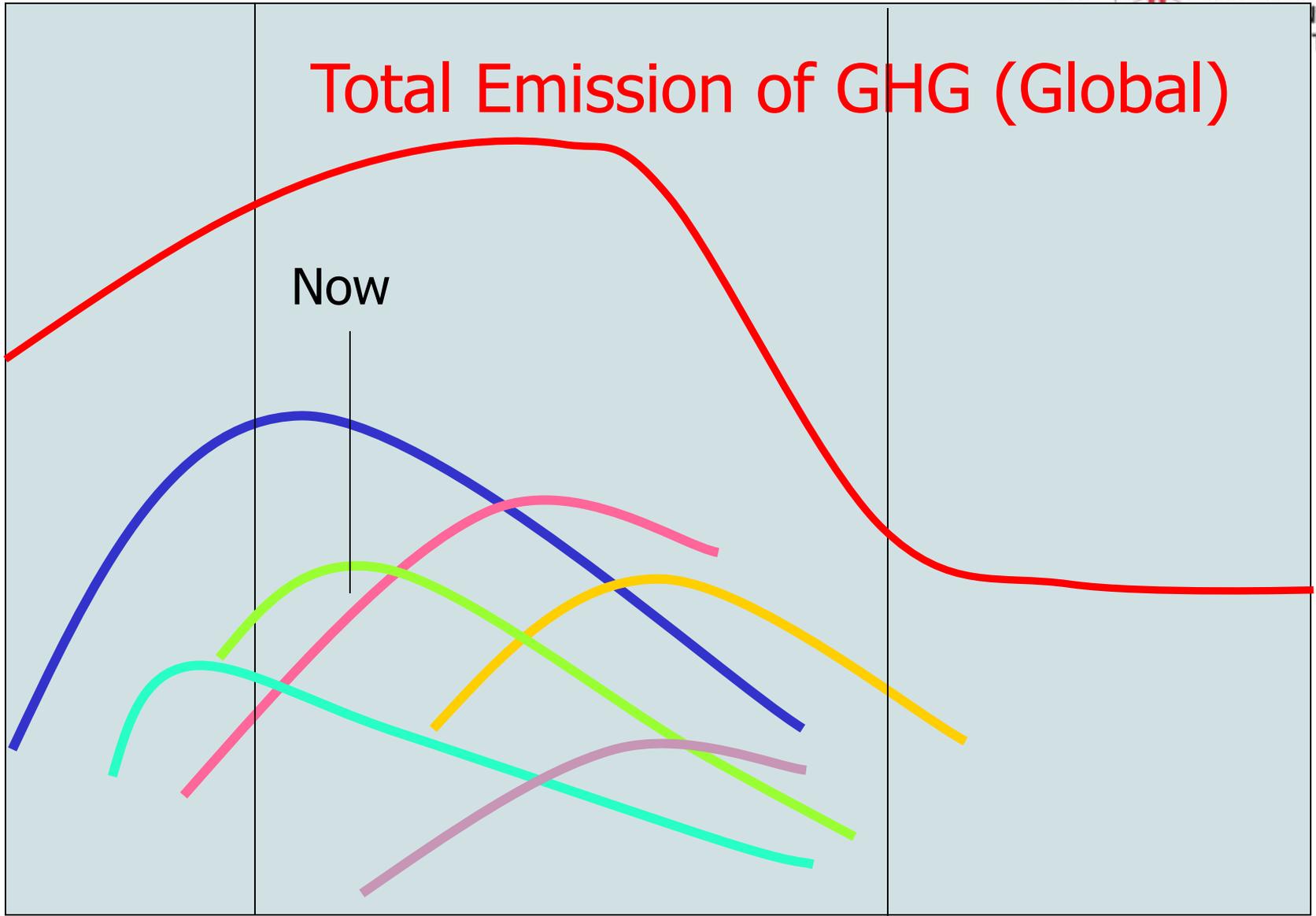
- 「温室効果ガスの排出削減の地球規模での目標を定めるにあたり」
- 「我々は2050年までに地球規模での排出を少なくとも半減させることを含む、EU、カナダ及び日本による決定を真剣に検討する」、という合意に到達。
- これからの交渉で、基準年の議論が重要。



# Total Emission of GHG (Global)

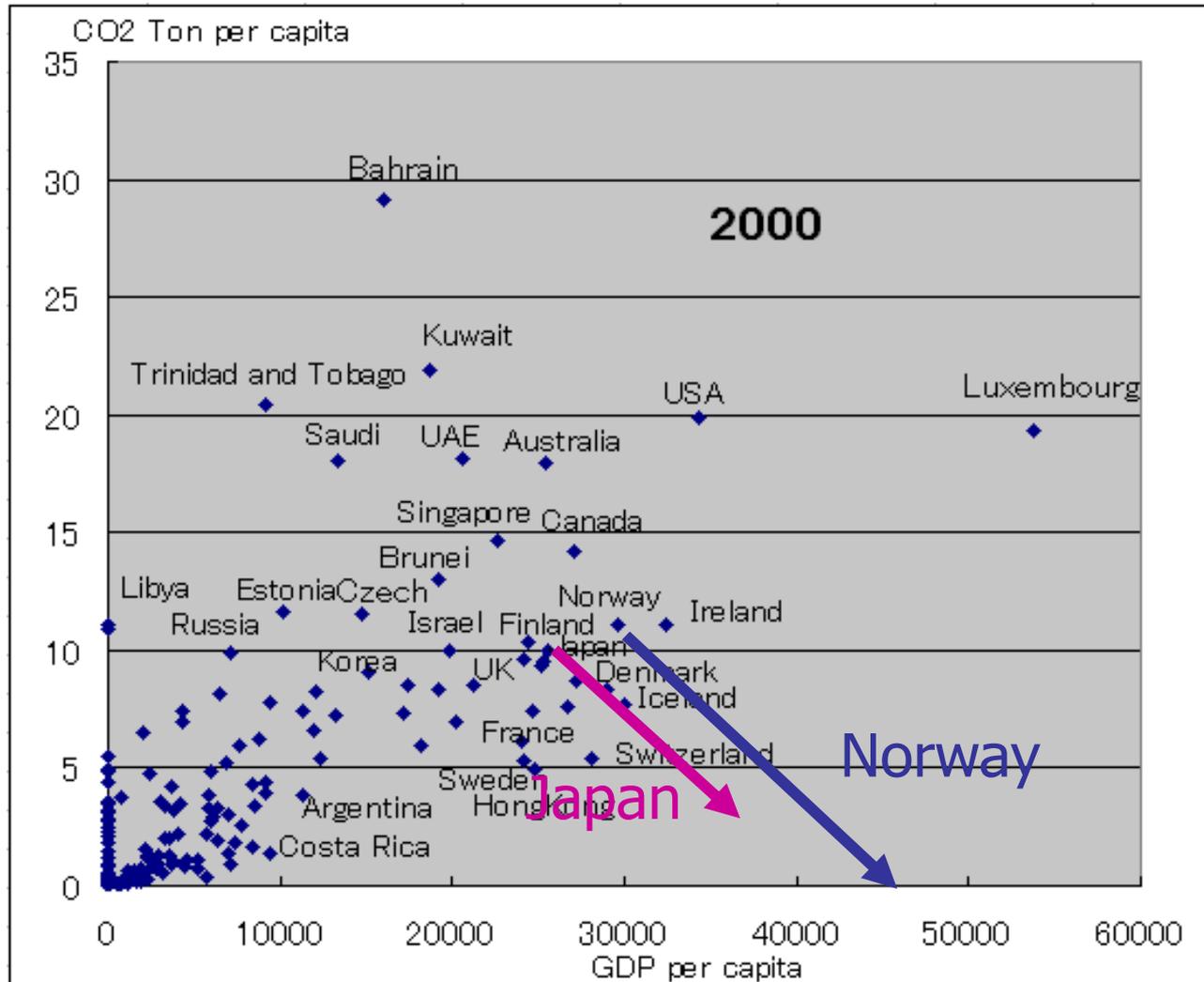
Now

1980 1990 2000 2010 2020 2030 2040 2050 2060 2070 2080



# CO<sub>2</sub>排出量とGDPの関係

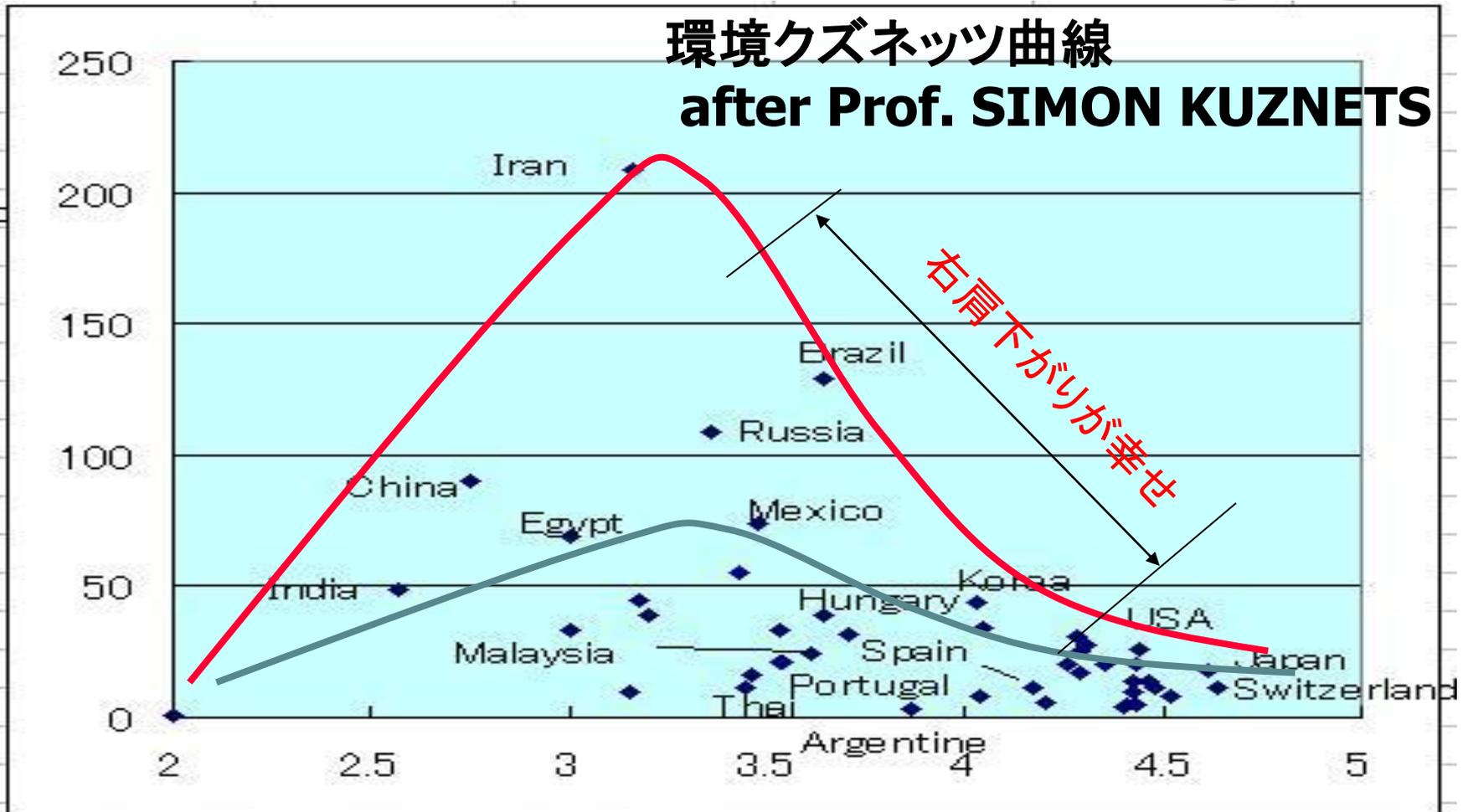
## CO<sub>2</sub> vs. GDP per Capita



# GDP 一人あたり vs. SOx 濃度



## 環境クズネッツ曲線 after Prof. SIMON KUZNETS



X-Axis: GDP / person in Log Scale

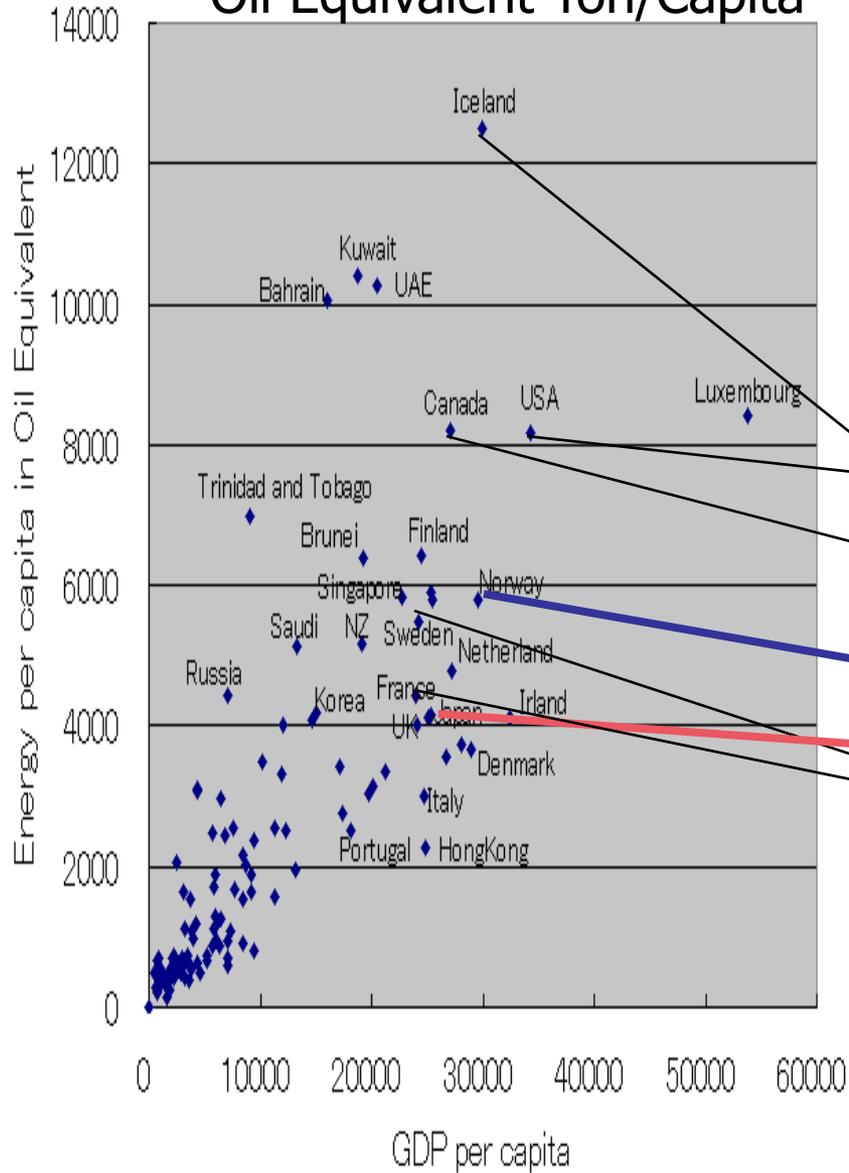
Y-Axis: SOx Concentration in Capital Area (micor gr / m3)

Tendency is clearer in Log Scale Plot.

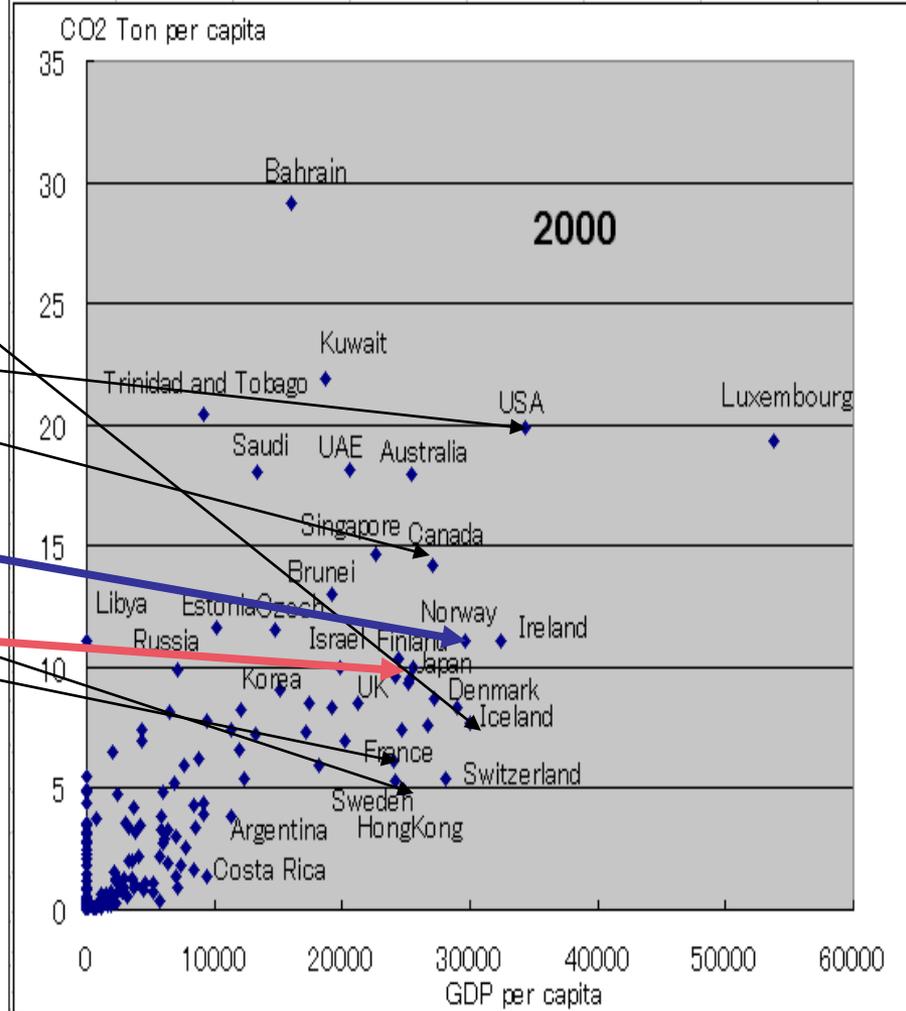


# Energy Consumption

## Oil Equivalent Ton/Capita

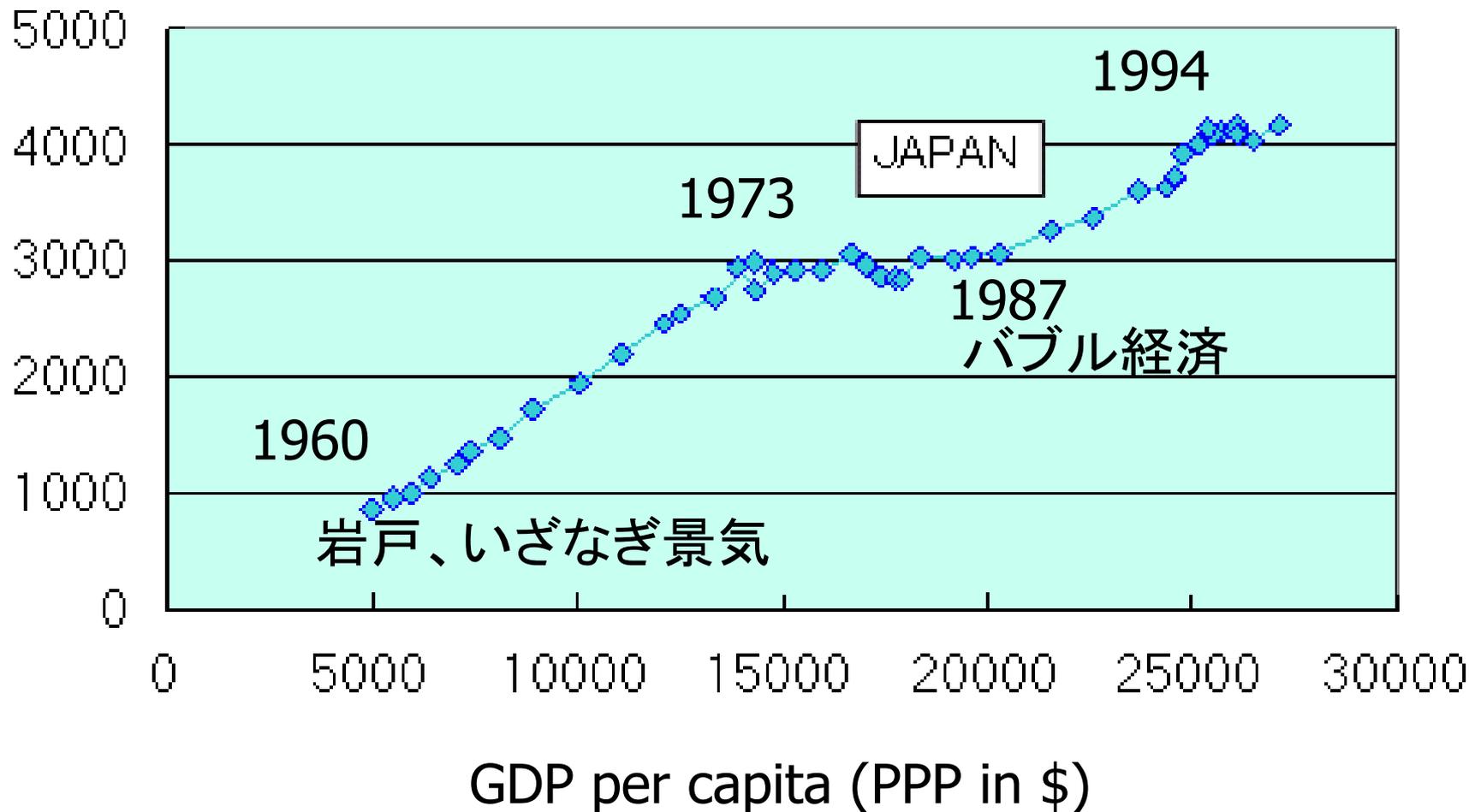


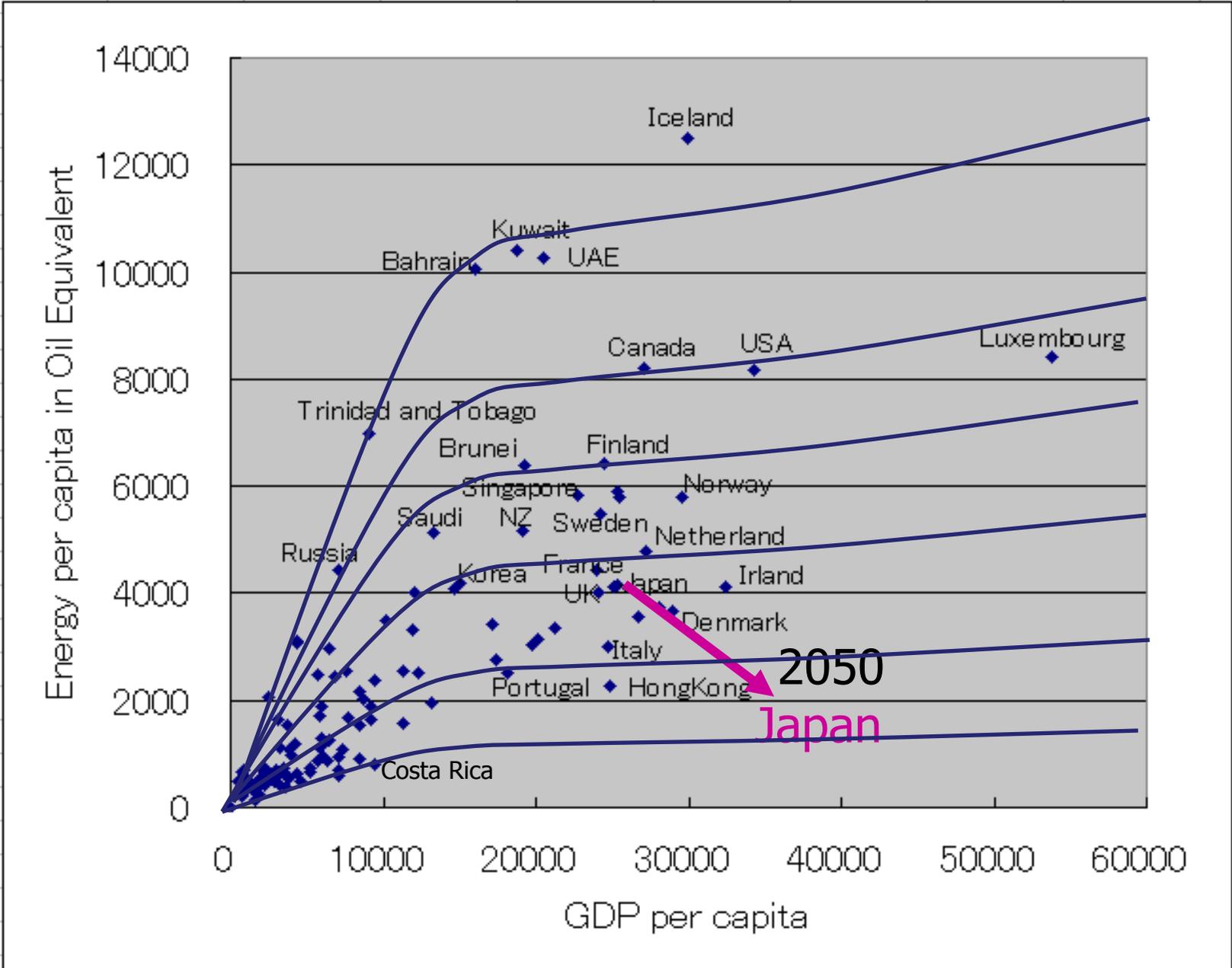
## CO2 Emission Ton/Capita



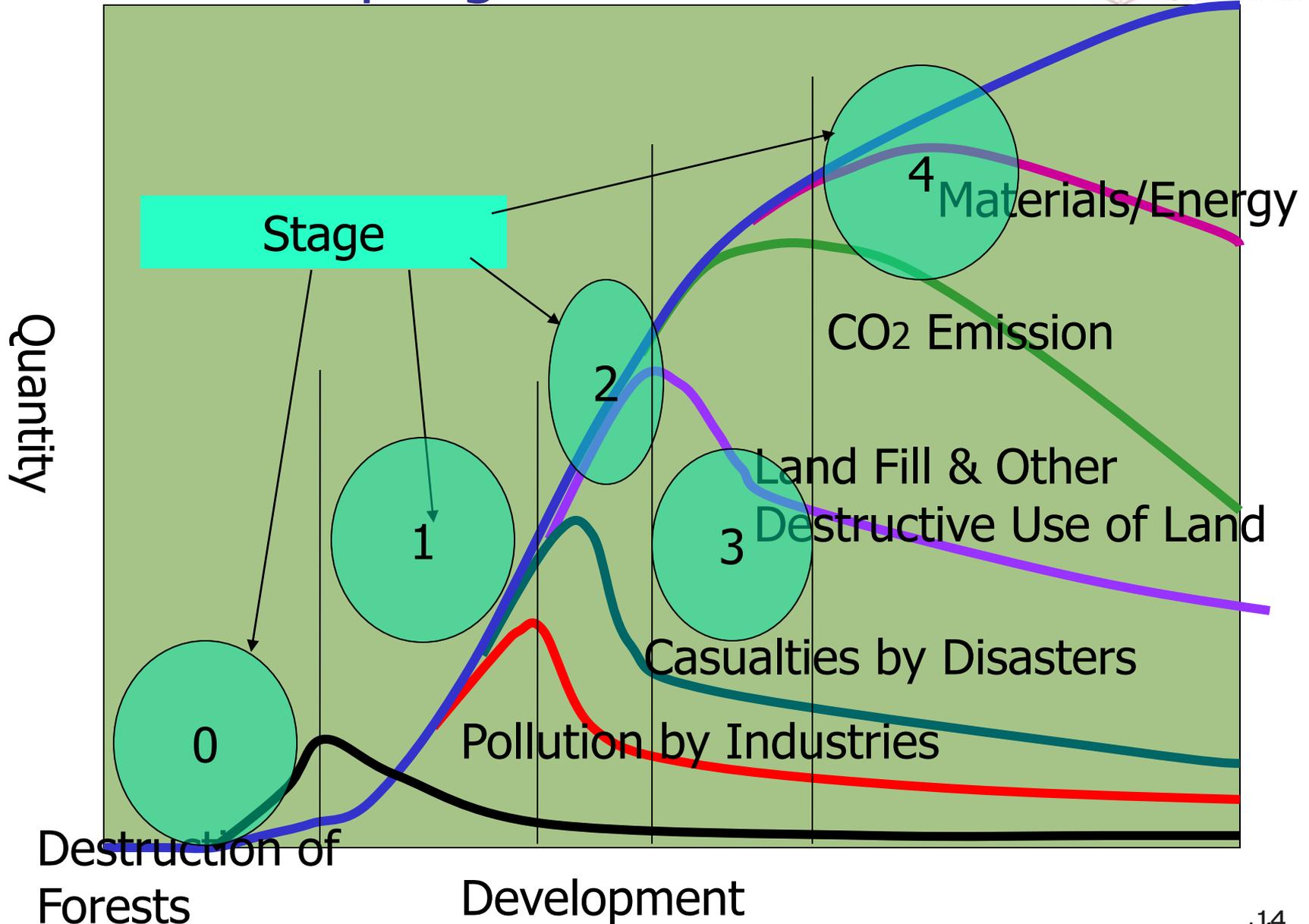


# Energy Consumption Kg Oil Eq. per capita





# Decoupling from Env. Issues



## ステージ4に入るには

- ステージ3までと違って、安全を求める動機だけでは解決不能。
- **理由：未来の問題だから。**
- 未来を割り引いて見てしまうから。
- 未来を現在の経済に組み込む新しい枠組みが必要。
- 環境と経済を合体させる仕組み。
- 例えば、CO<sub>2</sub>の発生量に比例して、税金を支払う＝**環境税**



# 現在のトレンド : 自己満足

= 自分が良ければ良い車

= Fast, High Performance, Heavy & Safer Cars

- カローラ: Corolla
- 第一世代: First Generation
  - 1485 x 3845 mm, 710kg
  - 1100cc 44kW
- Newest
  - 1695 x 4460 mm, 1150kg
  - 1500cc 81kW

**重量Weightで62% ↑**  
**エンジン出力Power84% ↑**



# 個人は？ ライフスタイルの変更

## New Lifestyle for Sustainability

- 省エネ・省資源
- 廃棄物 $\div$ 0
- 分別してリサイクル
- 新しい価値観
  - 新モットイナイ = **エコプレミアム**  
New Mottainai, Eco-Premium
  - プレミアム ビンテージ Premium Vintage
  - 30年後の生活を考える: 家、家具、車  
Always Consider the Future for 30 Years



# More by More から More by Lessへ

- 20世紀は、  
**more profit by more consumption**であった。
- 21世紀は、  
**more value by less resource**を目指す。
- これを新モットイナイ(=New Mottainai)  
=エコプレミアム(=Eco Premium)と定義する。

どうせ地球を削るのなら、できるだけ少なく削り  
できるだけ高い価値を産み出そう

If inevitable to use Earth, create things with great values.

# エコプレミアム商品の条件

## Conditions for Eco-premium Products

- (1) 価格が高いこと(購入時) High in Price
  - ライフサイクル全体で、価格的なメリットがあるものも含む
- (2) 目立つこと、自慢しやすいこと
  - Easily Identifiable
- (3) 愛用できること、愛着がわくこと
  - Long Use, Feel Attachment
- (4) 環境性能が良いこと
  - Excellent Environmental Performance



UNITED NATIONS  
UNIVERSITY



LED Table Light



# デジモノのエコな楽しみ方

A new way to enjoy Digital Products

## 「Premium Vintage」化するか？

- iPodはヴィンテージ化するか？ iPod =No!
  - 多分しない。生産量が多すぎる。
  - 電池交換ができなくなる。
- 皆さんのコンパクトデジカメも時間を超えない  
Compact Digital Cameras =No!



- **共通の電池**が必要。Standard Battery
- 単三、単四、単五は偉大である。AAA, AAAA
- コンパクトデジカメだと、これが候補か？ Candidate  
= **Ricoh GR-D、GX100**

Operate by Lithium battery or Two AAAA batteries



リチウム電池の隙間に、  
単四電池2本が入る。  
Ni-H充電電池も使用可能。  
これならかなり長期間入手可能。



# 社会システムが駆動

## Innovation Driven by Social System

- 
- 環境規制: Env. Regulation
  - 経済的インセンティブ、環境税:  
Incentive and Taxation
  - 倫理観、未来世代への責任感:  
Ethics & Responsibility
  - 技術開発が行われる: Tech. Development
  - 人々が基本的な発想法を変える:  
Mindset of Consumers



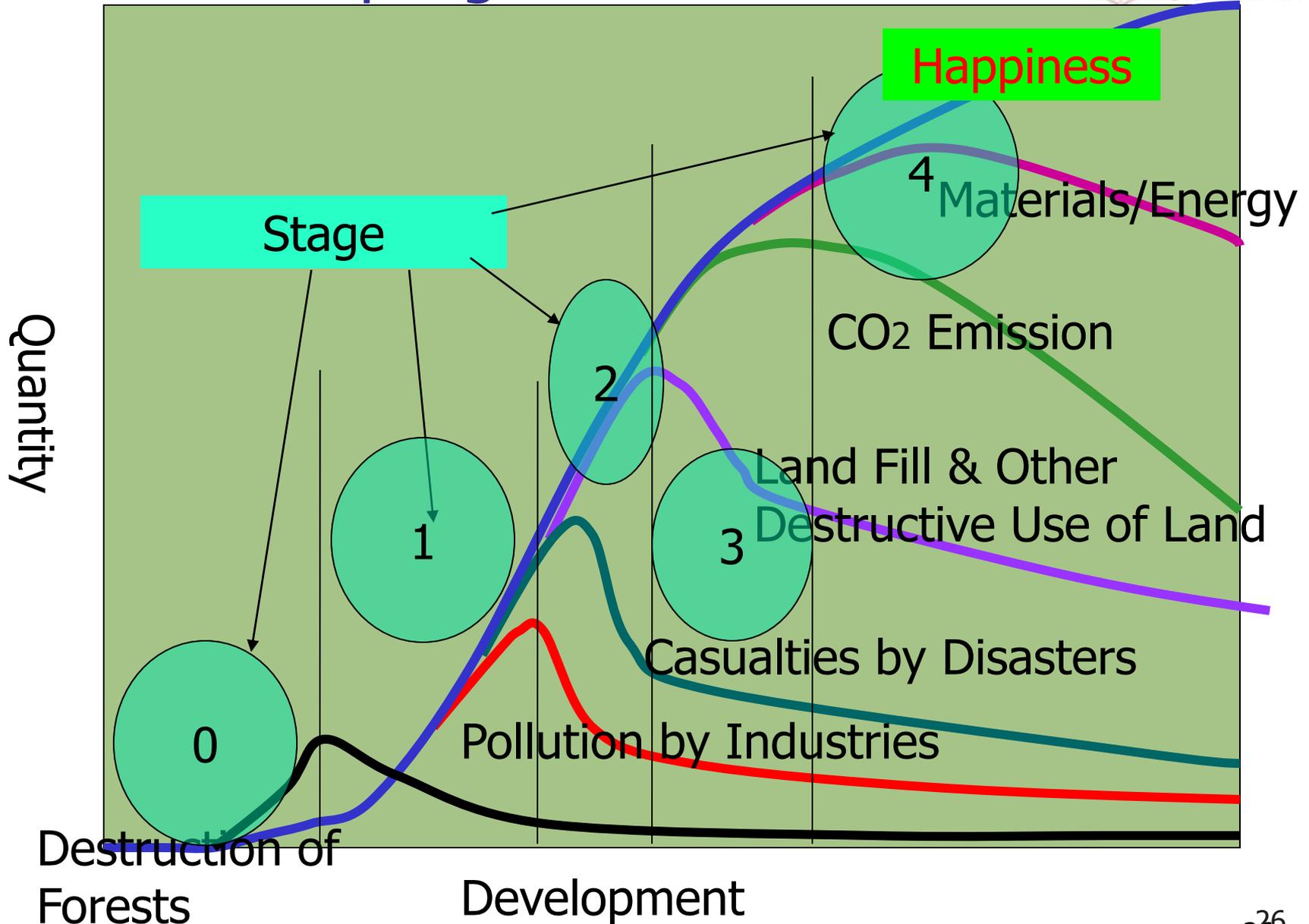
# 日本における問題点

- 2050年に、日本は何で生きているのか。
- 10年以上の戦略を考える人々(政治家、官僚、経済人、学者、メディア、教育者、、)がほとんどいない。
- 「細かい摺りあわせ」的合意に時間が掛かりすぎる。世界の変化のスピードに付いていけない。
- 人々が政治を信用していない。「政府とは、壮大な搾取構造なのか？」
- 人々のメンタリティーが内向き過ぎる。
- 本当に必要なところに金が無い。
  - 未来対応、国際対応



加えて. . . . .

# Decoupling from Env. Issues







# 気候変動の被害は、途上国へ

## Climate Impacts in Developing Countries

- **1°Cの上昇** Andes Water
  - 小氷河の減少による水の供給源 アンデスなど
- **2°Cの上昇** Africa Water, Mediterranean Water
  - アフリカの農業には被害
  - 水が20~30%減少
  - アフリカでマラリアの被害増大
  - 沿岸地域の洪水増加
- **3°Cの上昇** South Europe Drought, Amazon Tropic Forest
  - ヨーロッパの干ばつ、アマゾン森林の崩壊
- **4°Cの上昇** Russia Tundra
  - ツンドラ地帯の生態系の破壊
- **5°Cの上昇**: Whole World Sea Level Rise
  - 海面上昇

# 経済圏も考える必要あり

- EUは、人口4億9千万
  - USAは、3億人。人口増加継続中
- 
- 日本は？ 東アジア連合？？？
  - やはり「島国・仏教連合」では？？
  - フィリピン、台湾、インドネシア、ブルネイ、マレーシア、ニューギニア、スリランカ、ミャンマー、タイ、ラオス、カンボジア、ベトナム、シンガポール、ブータン、他
  - これで人口7億を超す
  - + オーストラリア、ニュージーランド ??